



【中学生】定期テスト対策

どの科目も、1回学習したくらいでは、テスト本番で半分かくらいは忘れていきます。少なくとも3回は繰り返し、学習しましょう。また特に英語と数学は、テストの数日前になってはじめて学習するのではなく、学校の進度に合わせて日頃からしっかり練習を進めておくことが必要です。

英語 ※教科書ごとにプリントが用意されています。自分の教科書に合わせて、プリントを選んでください。

テスト直前になって、一から覚えるというのでは到底いい得点は望めません。学校で新しいセクションに入る前に、単語と基本本文を覚えておくのが、テストで高得点を獲得するためのポイントです。

●新しく学習した範囲のテスト勉強

① 単語

単語プリントを使って、意味、発音、つづりをまとめて覚えましょう。読みながら覚えることで、発音とつづりの関係が分かってきます。また、リスニングの強化にもつながります。

② 基本文と英文法

まずは、「ラーニング」で文のつくりと文の意味を覚えましょう。原理が分かったら、得点力をつけるための練習問題「ステップ1」に取り組んでください。

③ 本文

本文で重要なことがらは、新しい単語や熟語を含んだ文です。「ステップ2、3」を繰り返し解きながら覚えましょう。

④ 英作文

①から③の学習が終わったら、英作文プリントで仕上げましょう。英作文プリントでは、基本文または重要単語について、作文の練習ができます。

●前回のテスト範囲までの復習

教科書ごとのレッスンの「まとめ」プリントを使ってください。

① 単語

まとめプリントの単語は、重要単語だけにしぼられています。効率よく単語の復習をすることができます。

② 基本文と英文法

まとめプリントで学習すると、例えば「肯定文」「否定文」「疑問文」がミックスされるなど、より実際のテストに近い形で練習ができるため、実力アップに効果的です。

③ 本文

定期テスト範囲以外の本文が出題されることは、ほとんどありません。「まとめ」に扱われている重要表現だけをしっかりと思い出しておきましょう。

●学校の勉強についていけなくなったとき

「英文法入門」プリントを使ってください。英語に苦手意識をもってしまうと、「覚える」ことが苦痛になります。「覚えてから練習問題」という、普通の学習のパターンでは、先に進めなくなってしまいます。「英文法入門」は、そうならないように「問題を解いていくうちに自然と覚えられる」内容になっています。

中1範囲だけの内容ですが、これを徹底して学習し、英語に慣れてくれば、教科書ごとの学習に戻る事が十分にできます。

数学

テストの目標点数（普段とっている点数より少し上の点数）に合わせて、「入門」あるいは「標準」を選びましょう。

●入門（入門1年①～②、入門2年、入門3年）

目標点が100点満点中50点～60点の場合には、入門を利用してください。1枚あたりの説明の量が少ないので、「少し読んで、少し練習」の積み重ねが自然とできます。問題集ではなかなか学習が進まないという人にも、おすすめです。

●標準（1年、2年、3年）

目標点が60点を超過している人は、標準単元で、短時間に多くの学習を行ないましょう。難しく感じたときだけ、「入門」を利用するといいでしょう。「ラーニング」プリントの例題を読み、「練習しよう」の問題を試しに解きます。解き方がわからなくなったら、説明や例題をすぐに見るようにしましょう。

ラーニングで要点を確かめたら「ステップ1、2」に進みます。あとは練習あるのみ。ポイントは、分からなくなったとき5分以上は悩まないことです。特にテスト直前なら、分からないと思ったらすぐにラーニングを見ましょう。まねして解いていくうちに、自分で解けるようになっていきます。

●まとめ（1年まとめ、2年まとめ、3年まとめ）

夏休みなどの長期休暇に、復習で学習するのに適しています。標準よりも内容がたくさん詰まっているので、実力アップには最適です。反面、数学が得意でない人には、手強く感じるかもしれません。

理科

「入門」「標準」「まとめ」の3種類があります。

●入門（入門1年、入門2年、入門3年）

目標点が100点満点中50点～60点の場合には、入門を利用してください。1枚あたりの説明の量が少ないので、「少し読んで、少し練習」の積み重ねが自然とできます。基礎事項のみを網羅しているため、苦手な生徒の基礎づくりにも最適です。

●標準（1年、2年、3年）

テスト範囲に合わせてプリントを選び、学習を進めてください。教科書や中学校によって、学習の順番が違いますので、しっかり確かめましょう。ラーニングの説明を覚えようとするよりも、「ステップ」プリントなどの問題を解きながら覚えていくのが効果的です。

●まとめ（1年まとめ、2年まとめ、3年まとめ）

夏休みなどの長期休暇に、復習で学習するのに適しています。標準よりも内容がたくさん詰まっているので、実力アップには最適です。反面、理科が得意でない人には、手強く感じるかもしれません。

社会

「標準」「まとめ」の2種類があります。

●標準（地理、歴史、公民）

テスト範囲に合わせてプリントを選び、学習を進めてください。教科書や中学校によって、学習の順番が違いますので、しっかり確かめましょう。ラーニングの説明を覚えようとするよりも、「ステップ」プリントなどの問題を解きながら覚えていくのが効果的です。

●まとめ（地理のまとめ、歴史のまとめ、公民のまとめ）

夏休みなどの長期休暇に、復習で学習するのに適しています。標準よりも内容がたくさん詰まっているので、実力アップには最適です。反面、社会が得意でない人には、手強く感じるかもしれません。

国語

※教科書ごとにプリントが用意されています。自分の教科書に合わせて、プリントを選んでください。

漢字、文法、古典、言語事項の学習ができます。テスト範囲に合わせてプリントを選び、学習を進めてください。

（本文の学習はできません。）